

作成年月日	令和3年4月12日
作成部局課室名	企画県民部広聴課 ビジョン課

## 令和2年度県民意識調査「兵庫の未来を考える」の調査結果

令和2年度県民意識調査は、毎年調査項目に加え「兵庫の未来を考える」を年次テーマに調査を実施し、結果をとりまとめました。

調査結果については、今年度策定予定の新しい長期ビジョンの検討に役立てます。

### 1 調査概要

- (1) 調査対象者：県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (2) 対象者数：5,000人
- (3) 調査時期：令和2年11月19日(木)～12月11日(金)
- (4) 回収数(率)：3,041人 (60.8%)
- (5) 設問構成：年次テーマ項目と毎年調査項目により構成

		回収数	回収率
総数		3,041	60.8%
性別	男性	1,191	50.0%
	女性	1,795	68.6%
	不明	55	—
年齢別	20代	242	43.5%
	30代	326	51.1%
	40代	509	60.3%
	50代	506	65.6%
	60代	517	64.3%
	70代	596	72.9%
	80歳～ 不明	297 48	52.1% —

#### ①年次テーマ項目

- ア お住まいの地域
- イ 日々の暮らし
- ウ 将来への期待

#### ②毎年調査項目

- ア 生活満足度、イ 生活向上感、ウ 大地震発生の可能性、エ 地域活動への参加、オ 県政への関心、カ 県政への評価、キ 県民局・県民センターの認知度

### 2 調査結果の概要

#### (1) 年次テーマ項目

項目	設問及び調査結果（年次テーマ項目）
お住まいの地域	<p><b>居住地域の生活環境の満足度</b></p> <p>問1 あなたは、お住まいの地域の生活環境についてどう感じていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「満足(18.6%)」と「まあ満足(55.2%)」を合わせた『満足』は前回調査(H29年度県民意識調査「2030年の兵庫の姿」)より1.6ポイント増加し、73.8%となっている。</li> </ul>
	<p>■ 満足 ■ まあ満足 □ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答</p> <p>『満足』・・・                      R2 満足(18.6%) + まあ満足(55.2%) = 73.8%                      H29 満足(17.4%) + まあ満足(54.8%) = 72.2%</p>

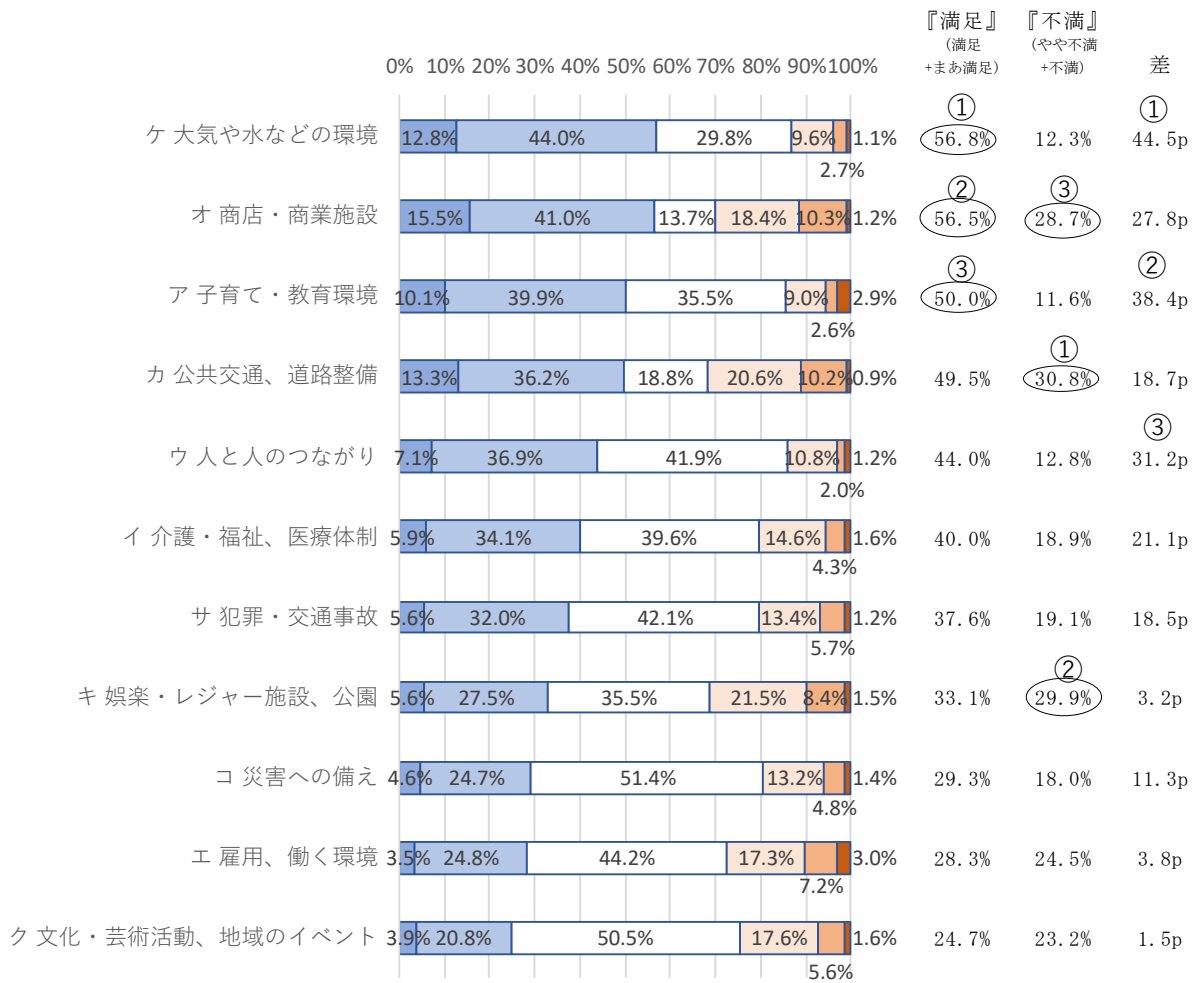
お住まいの地域

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

居住地域での項目別満足度

問2 あなたは、お住まいの地域における次の面について、どう感じていますか。次のア～サのそれぞれの項目について1つ選んで番号に○をつけてください。

- 『満足』（＝満足＋まあ満足）は、「ケ 大気や水などの環境(56.8%)」、「オ 商店・商業施設(56.5%)」、「ア 子育て・教育環境(50.0%)」が5割以上になっている。



■満足 ■まあ満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満 ■無回答

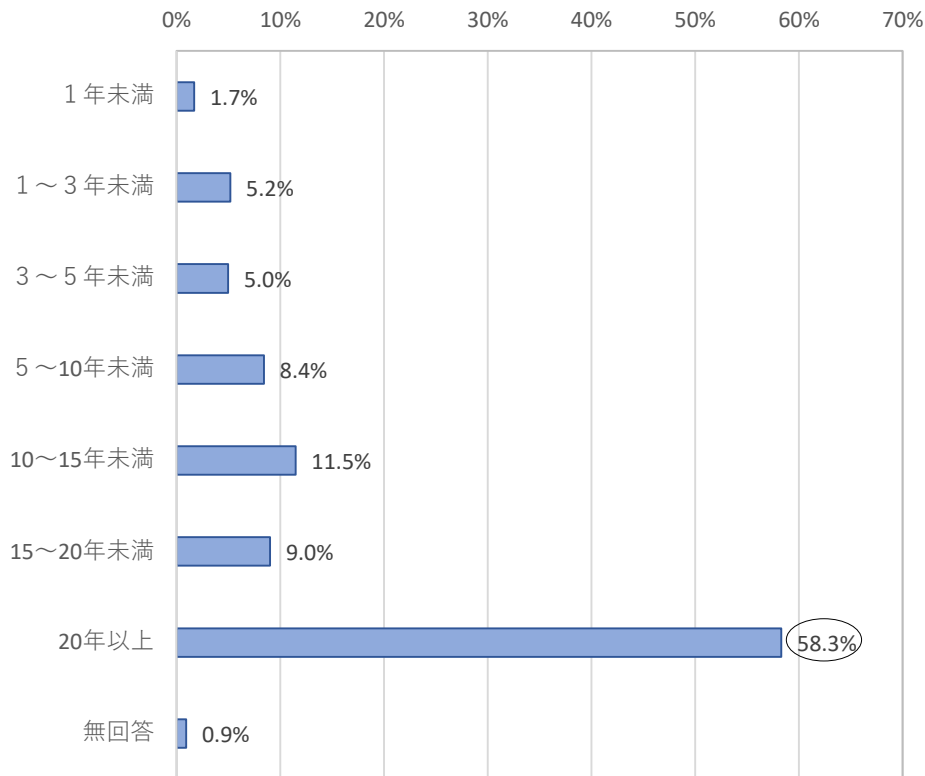
○付き数字は、多いものの順位を表示

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

お住まいの地域

問3-1 あなたは現在、お住まいのところに通算、何年お住まいですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 全体では、約6割の人が「20年以上」現在の住まいで暮らしている(58.3%)。
- ・ 「20年以上」を地域別で見ると、阪神南(48.7%)と阪神北(49.0%)が50%未満で低くなっている一方、最も多いのは西播磨(81.6%)となっており、地域差が大きくなっている。



【地域別】

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	
全県	1.7%	5.2%	5.0%	8.4%	11.5%	9.0%	58.3%	0.9%	
地域別	神戸	1.4%	6.6%	5.9%	9.3%	10.7%	56.2%	1.0%	
	阪神南	2.9%	6.9%	5.8%	7.3%	17.5%	48.7%	0.7%	
	阪神北	2.1%	5.2%	6.6%	10.5%	14.0%	49.0%	1.0%	
	東播磨	1.3%	3.9%	4.8%	10.0%	9.0%	62.7%	0.6%	
	北播磨	0.3%	1.6%	2.5%	6.6%	6.9%	75.3%	0.6%	
	中播磨	1.7%	4.7%	3.7%	8.3%	11.6%	59.8%	0.7%	
	西播磨	0.9%	2.1%	0.6%	5.1%	4.2%	4.5%	81.6%	0.9%
	但馬	0.9%	3.1%	2.8%	4.3%	6.8%	6.2%	74.5%	1.2%
	丹波	1.0%	3.5%	2.2%	4.8%	5.4%	6.1%	76.0%	1.0%
	淡路	1.7%	1.7%	2.7%	5.1%	4.5%	9.2%	72.3%	2.7%
	地域差	2.6p	5.3p	6.0p	6.2p	13.3p	7.0p	32.9p	2.1p

■ 最大値 ■ 最小値

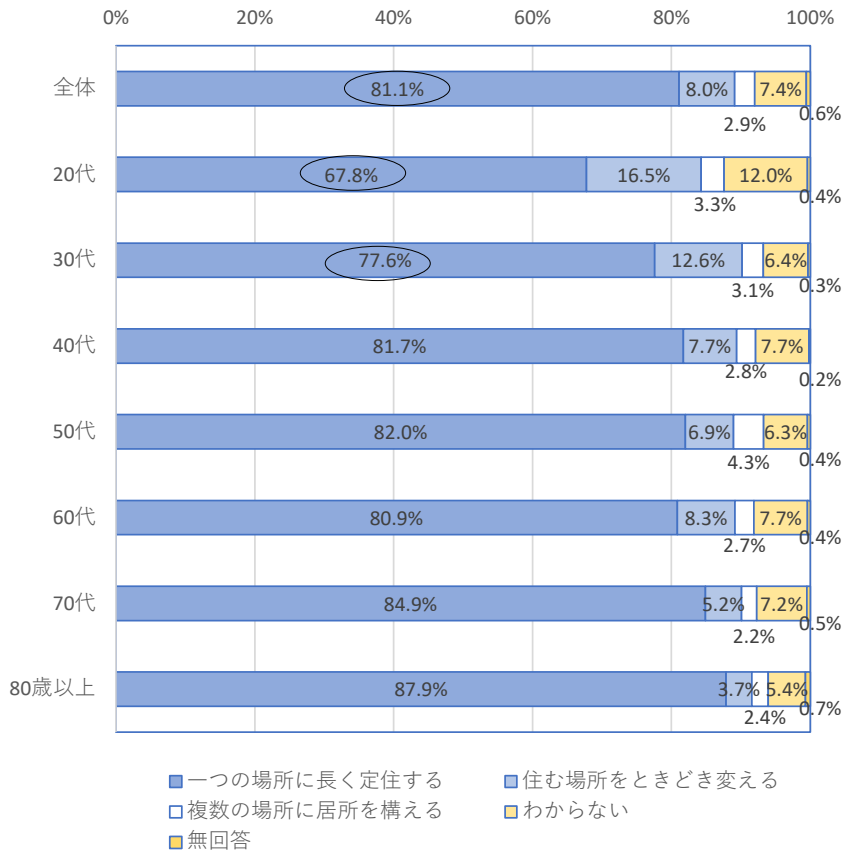
項目  
お住まいの地域

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

居住場所についての考え方

問3-2 住む場所について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 「一つの場所に長く定住する」が8割を超えている(81.1%)。8割に満たないのは、20代(67.8%)と30代(77.6%)となっている。地域別でも、すべての地域で定住志向が強くなっている。



【地域別】

	一つの場所に長く定住する	住む場所をときどき変える	複数の場所に居所を構える	わからない	無回答	
全 県	81.1%	8.0%	2.9%	7.4%	0.6%	
地 域 別	神戸	78.6%	9.3%	2.8%	9.0%	0.3%
	阪神南	77.8%	9.8%	4.4%	7.6%	0.4%
	阪神北	83.2%	8.4%	2.1%	5.2%	1.0%
	東播磨	84.9%	6.4%	1.9%	6.4%	0.3%
	北播磨	85.0%	5.9%	1.9%	6.9%	0.3%
	中播磨	84.4%	6.0%	3.3%	5.6%	0.7%
	西播磨	83.7%	5.7%	1.8%	7.8%	0.9%
	但馬	81.1%	5.0%	2.8%	9.9%	1.2%
	丹波	81.4%	5.1%	3.8%	9.3%	0.3%
	淡路	77.7%	6.8%	4.5%	9.9%	0.3%
地域差	7.3p	4.8p	2.7p	4.7p	0.9p	

■ 最大値      ■ 最小値

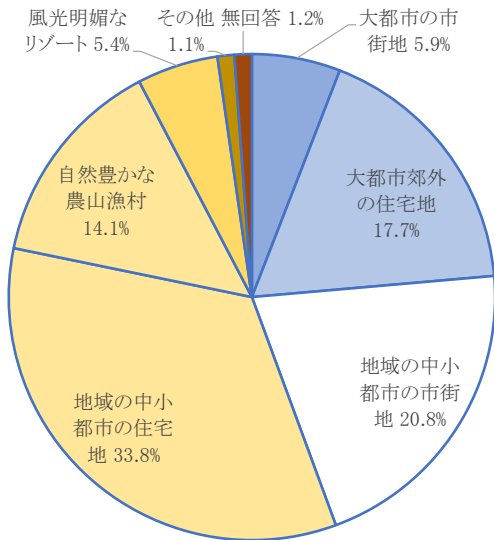
お住まいの地域

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

お住まいの地域

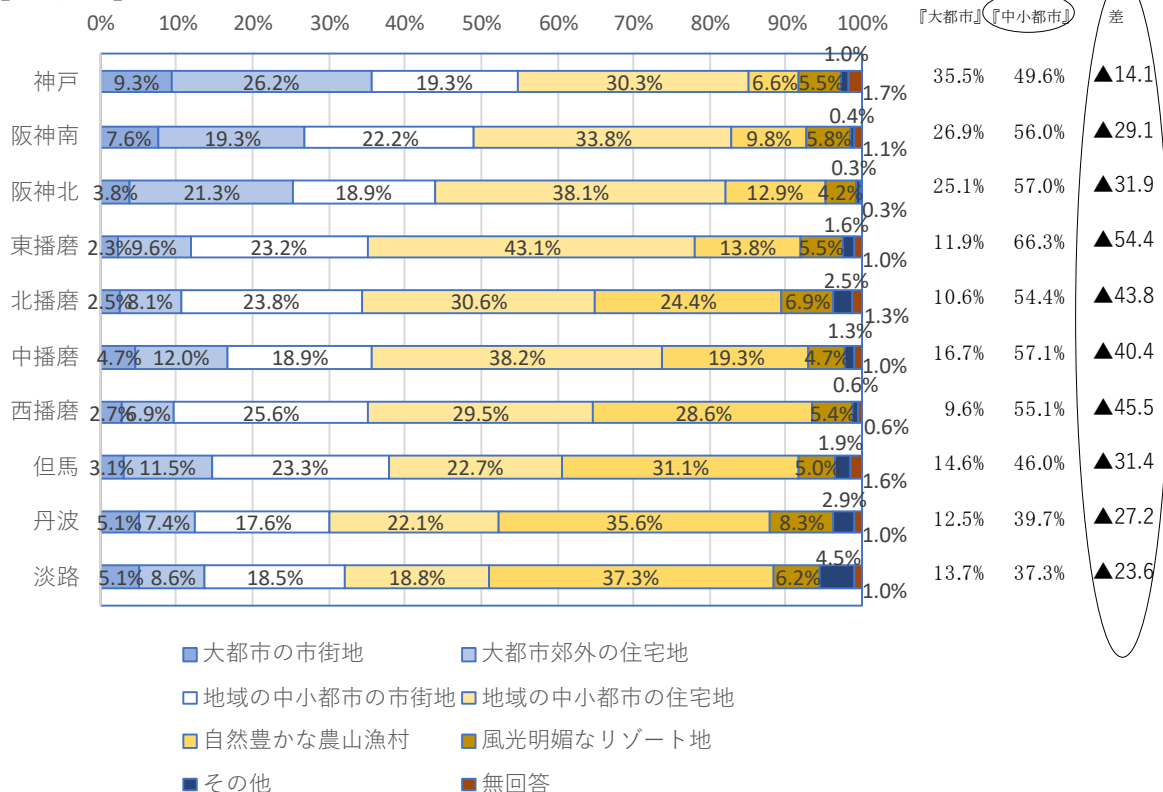
問3-3 あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どこに住みたいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 『地域の中小都市』が半数以上（54.6%）となっており、すべての地域で『地域の中小都市』が『大都市』を上回っている。



『大都市』 23.6%  
 = 市街地 ( 5.9%) + 郊外の住宅地 (17.7%)  
 『地域の中小都市』 (54.6%)  
 = 市街地 (20.8%) + 住宅地 (33.8%)

【地域別】



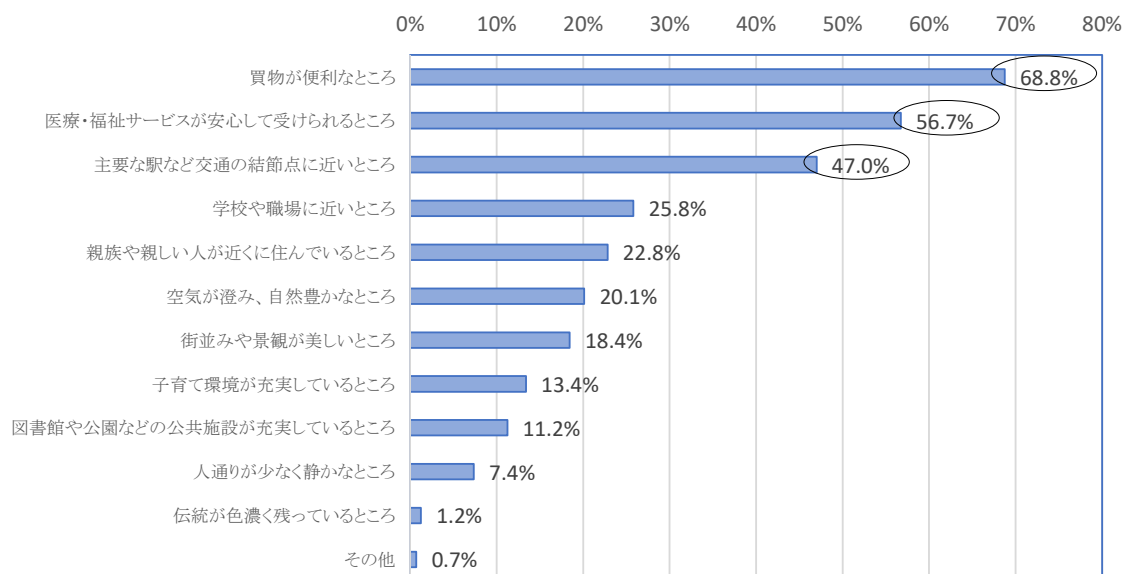
設問及び調査結果（年次テーマ項目）

お住まいの地域の

居住地選定の視点

問3-4 あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どのようなところを重視しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 「買い物が便利なところ（68.8%）」が最も多く、次いで「医療・福祉サービスが安心して受けられるところ（56.7%）」「主要な駅など交通の結節点に近いところ（47.0%）」となっており、生活利便性が求められている。

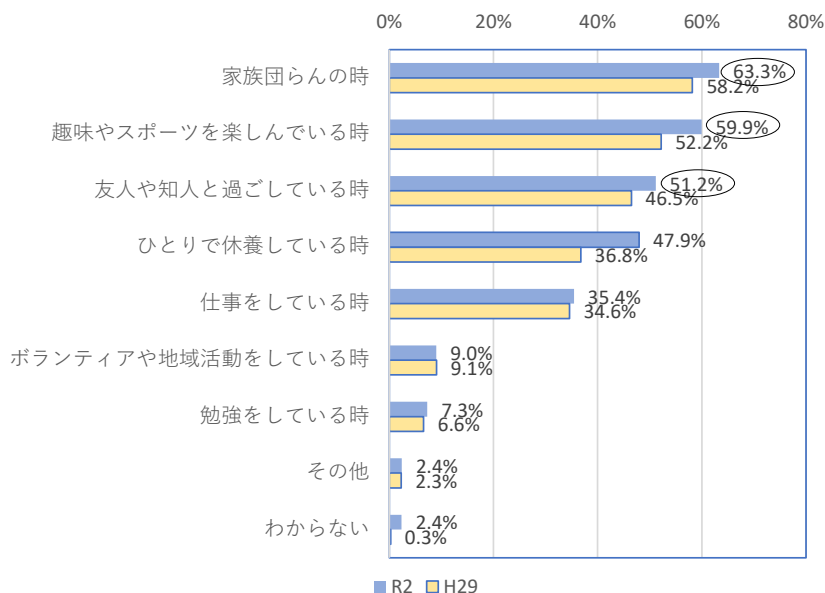


日々の暮らし

日常生活における充実感

問4 あなたが、日常生活において充実感を感じるのは、主にどのような時ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 「家族団らんの時（63.3%）」が最も多く、次いで「趣味やスポーツを楽しんでいる時（59.9%）」「友人や知人と過ごしている時（51.2%）」が多くなっている。

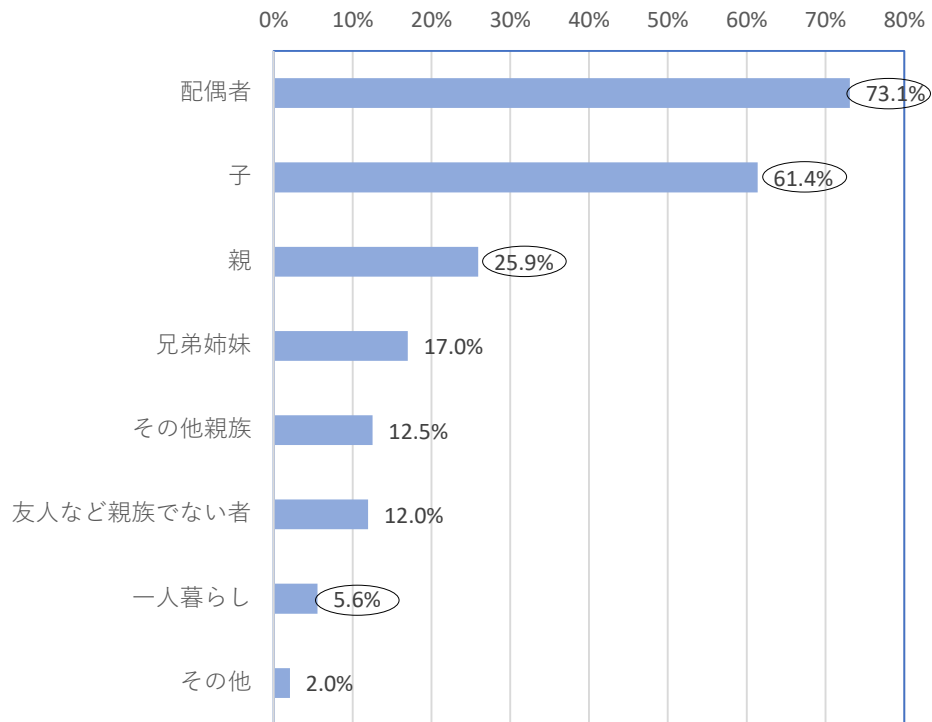


日 理想の同居者

問5-1 日々の暮らしを誰と過ごすのが理想ですか、次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

々  
の  
暮  
ら  
し

- ・ 「配偶者（73.1%）」と「子（61.4%）」が多く、「親（25.9%）」は3番目。「一人暮らし（5.6%）」は最も少なくなっている。



【年代別】

	配偶者	子	親	兄弟姉妹	その他親族	友人など親族でない者	一人暮らし	その他	
全体	73.1%	61.4%	25.9%	17.0%	12.5%	12.0%	5.6%	2.0%	
年代別	20代	52.5%	42.6%	63.6%	33.5%	20.2%	31.0%	10.3%	4.1%
	30代	78.2%	73.3%	39.0%	23.6%	8.9%	16.3%	5.2%	1.5%
	40代	73.9%	73.5%	37.5%	20.8%	10.8%	11.0%	4.9%	1.4%
	50代	78.9%	65.0%	30.8%	12.6%	9.9%	5.7%	1.6%	3.6%
	60代	74.1%	60.0%	15.3%	13.0%	14.9%	9.9%	6.2%	1.2%
	70代	74.3%	53.0%	7.9%	13.9%	13.4%	10.6%	6.4%	1.0%
	80歳以上	71.0%	58.9%	9.1%	10.4%	12.8%	10.4%	7.7%	3.0%
	年代差	26.4p	30.9p	55.7p	23.1p	11.3p	25.3p	8.7p	3.1p

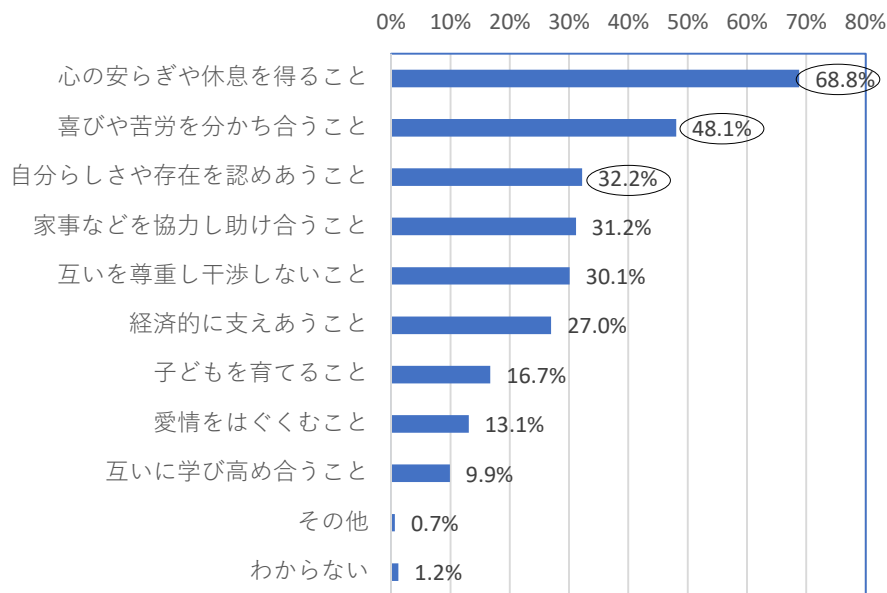
■ 最大値 ■ 最小値

期 設問及び調査結果（年次テーマ項目）

日 同居者に求めること

々 問5-2 人と一緒に暮らすことに対して求めることは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

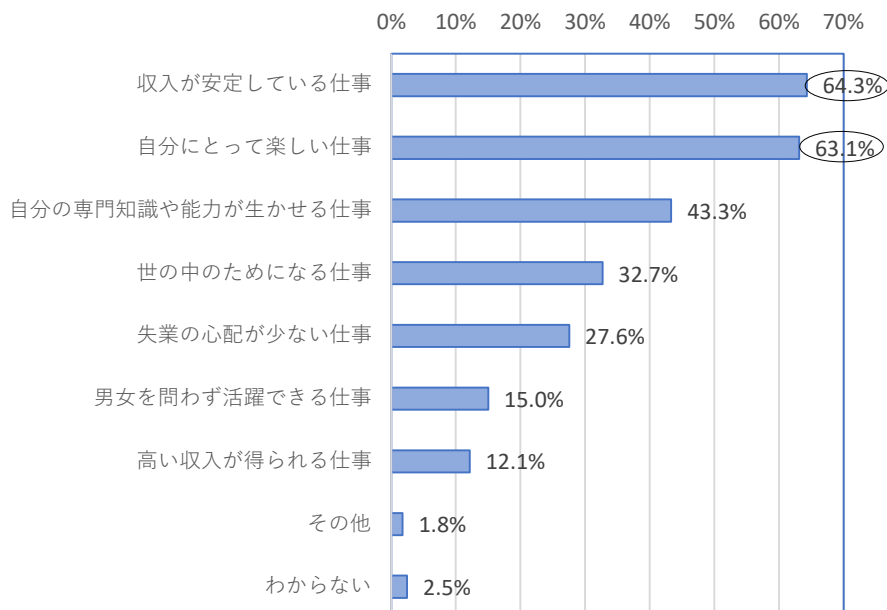
暮らし • 「心の安らぎや休息を得ること（68.8%）」が最も高く、次いで「喜びや苦勞を分かち合うこと（48.1%）」「自分らしさや存在を認め合うこと（32.2%）」となっている。



日 理想的な仕事

々 問6-1 あなたにとってどのような仕事が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

暮らし • 「収入が安定している仕事（64.3%）」と「自分にとって楽しい仕事（63.1%）」の2つが特に多く、6割を超えている。





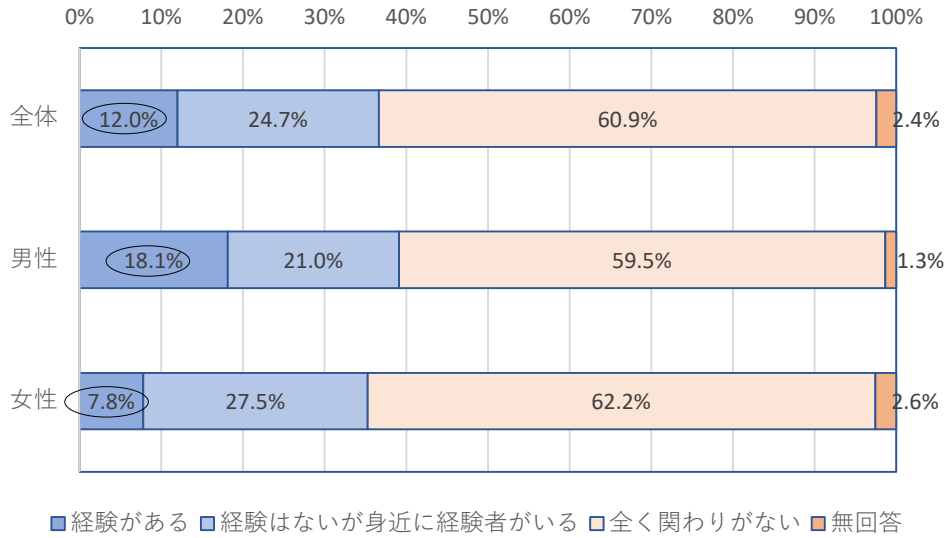
項目	設問及び調査結果（年次テーマ項目）																								
日々暮らし	<p><b>理想的な働き方</b></p> <p>問6-2 あなたにとってどのような働き方が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「残業や休日出勤をすることなく働く（59.3%）」と「転勤なく同じ場所で働く（53.1%）」の2つが特に多くなっている。</li> <li>「場所にとらわれずに働く（19.1%）」「本業に加え副業・兼業しながら働く（10.9%）」「次々に仕事を変えながら働く（2.9%）」など新しい働き方は多くない。</li> </ul>																								
	<table border="1"> <caption>理想的な働き方の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>働き方</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残業や休日勤務をすることなく働く</td> <td>59.3%</td> </tr> <tr> <td>転勤なく同じ場所で働く</td> <td>53.1%</td> </tr> <tr> <td>趣味の一環として働く</td> <td>25.1%</td> </tr> <tr> <td>時間にとらわれずに働く</td> <td>24.3%</td> </tr> <tr> <td>場所にとらわれずに働く</td> <td>19.1%</td> </tr> <tr> <td>時おり大学などで学び直しをしながら働く</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>本業に加え副業・兼業しながら働く</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>次々に仕事を変えながら働く(自ら仕事を生み出すことも含む)</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>本業はもたず複数の仕事をしながら働く</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	働き方	割合	残業や休日勤務をすることなく働く	59.3%	転勤なく同じ場所で働く	53.1%	趣味の一環として働く	25.1%	時間にとらわれずに働く	24.3%	場所にとらわれずに働く	19.1%	時おり大学などで学び直しをしながら働く	12.0%	本業に加え副業・兼業しながら働く	10.9%	次々に仕事を変えながら働く(自ら仕事を生み出すことも含む)	2.9%	本業はもたず複数の仕事をしながら働く	1.3%	その他	2.6%	わからない	5.0%
働き方	割合																								
残業や休日勤務をすることなく働く	59.3%																								
転勤なく同じ場所で働く	53.1%																								
趣味の一環として働く	25.1%																								
時間にとらわれずに働く	24.3%																								
場所にとらわれずに働く	19.1%																								
時おり大学などで学び直しをしながら働く	12.0%																								
本業に加え副業・兼業しながら働く	10.9%																								
次々に仕事を変えながら働く(自ら仕事を生み出すことも含む)	2.9%																								
本業はもたず複数の仕事をしながら働く	1.3%																								
その他	2.6%																								
わからない	5.0%																								

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

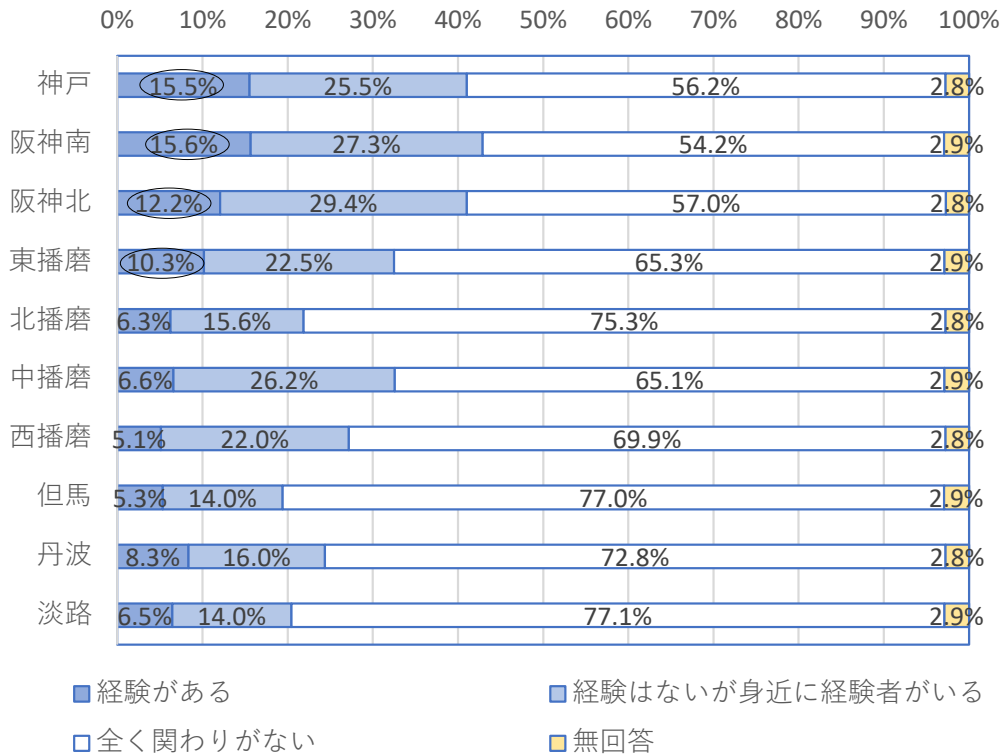
日テレワークの経験

問6-3 現在、場所にとらわれない働き方であるテレワークが注目されています。テレワークの経験について、当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 全体で経験者は12.0%と多くない。性別では女性より男性が多く、地域別では、神戸・阪神、東播磨で比較的多くなっている。



【地域別】

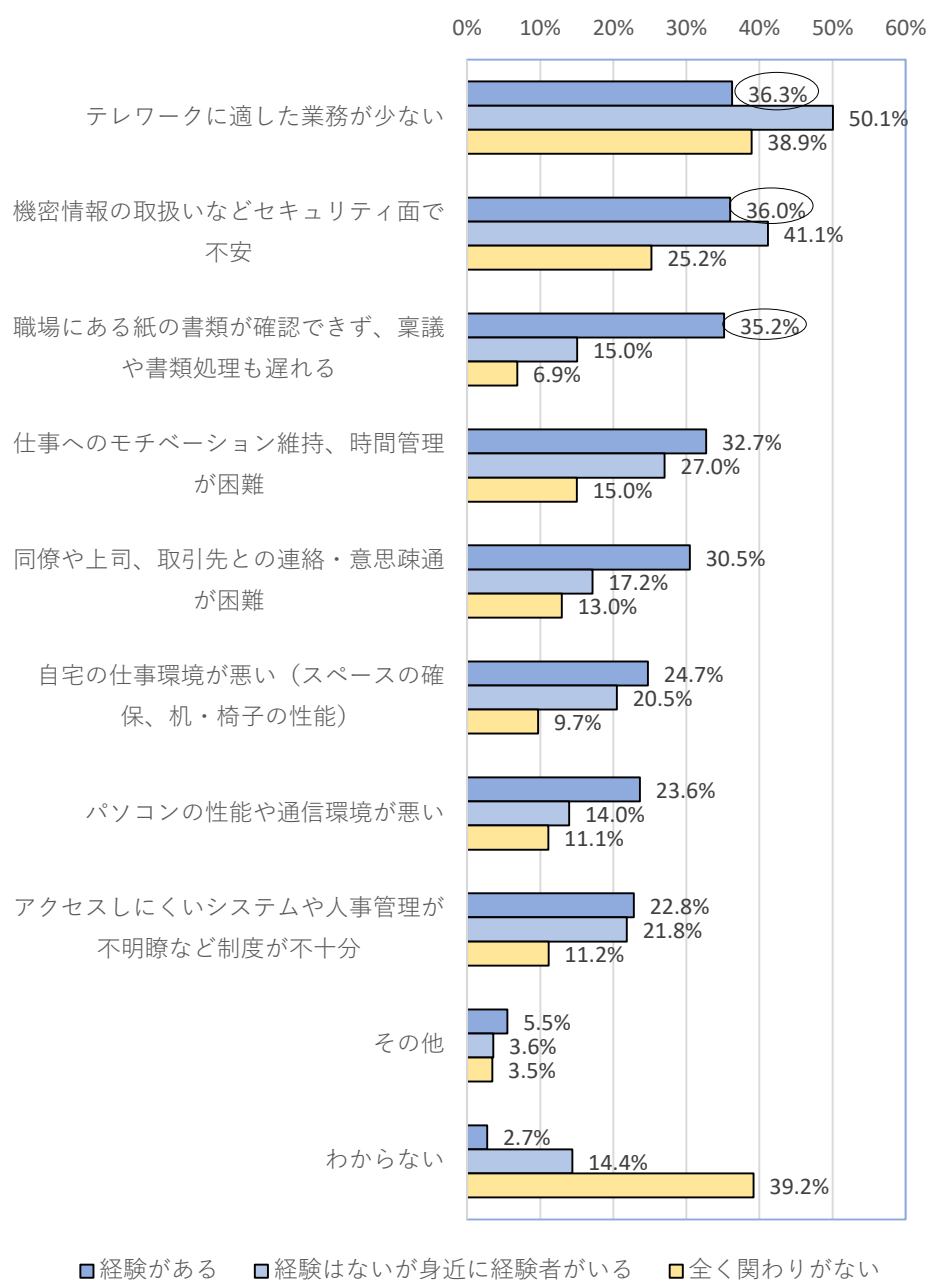


設問及び調査結果（年次テーマ項目）

日テレワークの課題

問6-4 テレワークを進めるうえでの課題は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- ・ 経験者では、「適した業務が少ない（36.3%）」が最も多く、次いで「機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安（36.0%）」「職場にある紙の書類が確認できず、稟議や書類処理も遅れる（35.2%）」となっている。



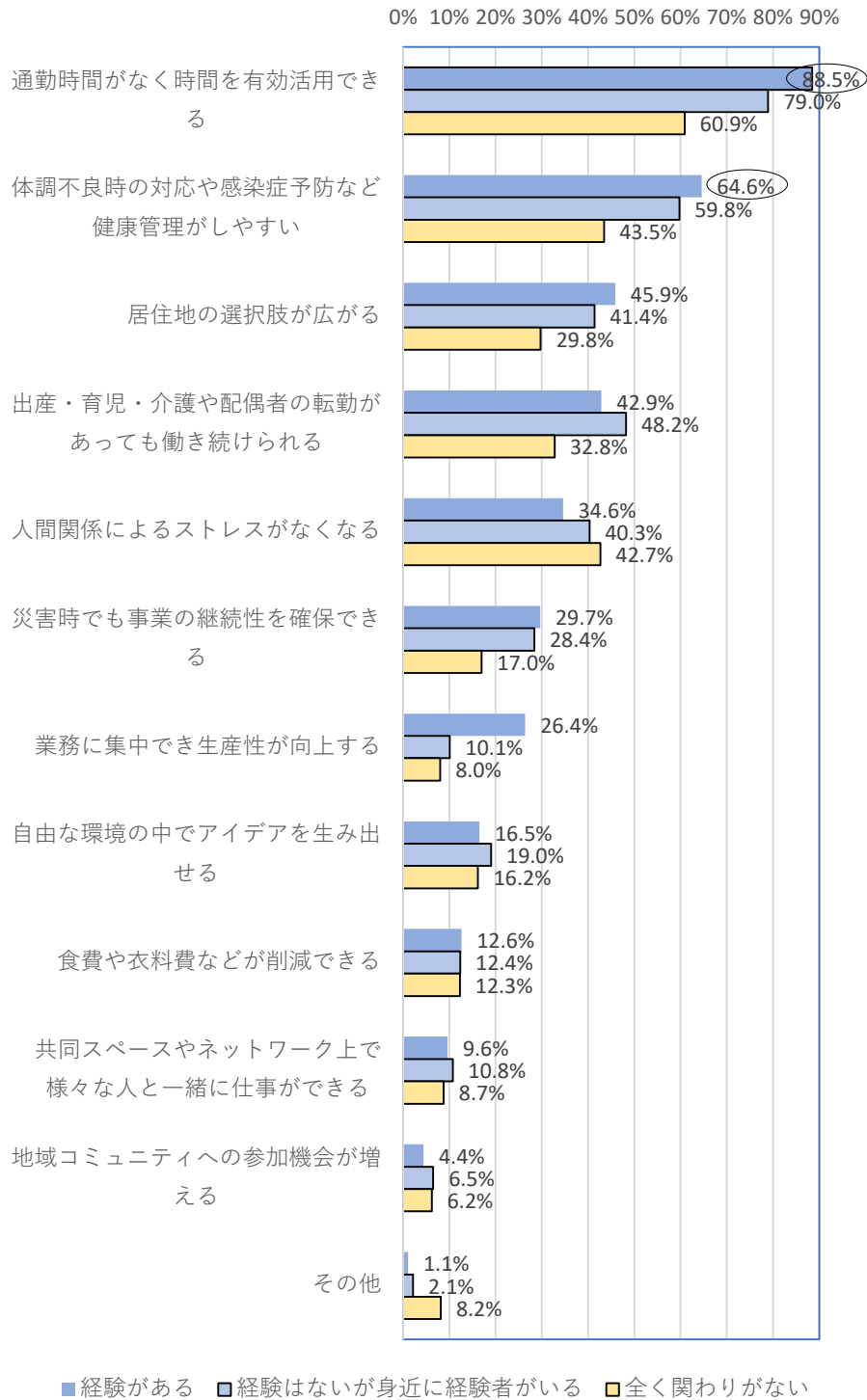
項目	設問及び調査結果（年次テーマ項目）																																								
日 々 の 暮 ら し	<p><b>テレワーク導入の要件</b></p> <p>問6-5 テレワークの導入に向けて何が整備されるとよいですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経験者では、「書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止（58.2%）」が最も多く、次いで「職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備（54.1%）」となっている。</li> </ul>																																								
	<table border="1"> <caption>テレワーク導入の要件に関する調査結果</caption> <thead> <tr> <th>要件</th> <th>経験がある</th> <th>経験はないが身近に経験者がいる</th> <th>全く関わりがない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止</td> <td>58.2%</td> <td>35.2%</td> <td>19.2%</td> </tr> <tr> <td>職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備</td> <td>54.1%</td> <td>54.5%</td> <td>31.0%</td> </tr> <tr> <td>自宅の仕事環境の改善</td> <td>38.7%</td> <td>35.6%</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>機密情報の取扱いなどのルールづくり</td> <td>31.6%</td> <td>44.2%</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入</td> <td>21.2%</td> <td>17.7%</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>サテライトオフィスなどの整備</td> <td>21.2%</td> <td>13.0%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>好事例の周知やアドバイザー派遣、監督職への研修など運用改善</td> <td>6.9%</td> <td>10.4%</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5.2%</td> <td>1.3%</td> <td>2.8%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>3.0%</td> <td>16.8%</td> <td>41.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 経験がある ■ 経験はないが身近に経験者がいる ■ 全く関わりがない</p>	要件	経験がある	経験はないが身近に経験者がいる	全く関わりがない	書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止	58.2%	35.2%	19.2%	職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備	54.1%	54.5%	31.0%	自宅の仕事環境の改善	38.7%	35.6%	22.8%	機密情報の取扱いなどのルールづくり	31.6%	44.2%	28.8%	同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入	21.2%	17.7%	13.8%	サテライトオフィスなどの整備	21.2%	13.0%	5.8%	好事例の周知やアドバイザー派遣、監督職への研修など運用改善	6.9%	10.4%	7.7%	その他	5.2%	1.3%	2.8%	わからない	3.0%	16.8%	41.6%
要件	経験がある	経験はないが身近に経験者がいる	全く関わりがない																																						
書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止	58.2%	35.2%	19.2%																																						
職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備	54.1%	54.5%	31.0%																																						
自宅の仕事環境の改善	38.7%	35.6%	22.8%																																						
機密情報の取扱いなどのルールづくり	31.6%	44.2%	28.8%																																						
同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入	21.2%	17.7%	13.8%																																						
サテライトオフィスなどの整備	21.2%	13.0%	5.8%																																						
好事例の周知やアドバイザー派遣、監督職への研修など運用改善	6.9%	10.4%	7.7%																																						
その他	5.2%	1.3%	2.8%																																						
わからない	3.0%	16.8%	41.6%																																						

項目 設問及び調査結果（年次テーマ項目）

日 テレワークの普及による変化

問6-6 テレワークの普及による働き方や生活の変化に期待することについて、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- ・ 経験者では、「通勤時間がなく時間を有効活用できる（88.5%）」が最も多く、次いで「体調不良時の対応や感染症予防など健康管理がしやすい（64.6%）」となっている。



設問及び調査結果（年次テーマ項目）

**将来への期待** **これからの学校教育で大切なこと**

問7-1 これからの学校教育について、あなたが大切だと思うことはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 「他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること（70.4%）」が最も多く、次いで「基礎的・基本的な学力を身につけること（50.4%）」となっている。

項目	割合
他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること	70.4%
基礎的・基本的な学力を身につけること	50.4%
目標に対して粘り強くやり抜く力を育むこと	32.9%
社会の課題について自ら考える力を育むこと	31.8%
外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること	30.5%
常識にとらわれない創造力を育むこと	19.0%
郷土の自然や文化の素晴らしさに触れること	17.1%
情報通信の技術に親しみ、役立てられるようになること	12.8%
最先端技術の知識や技能を学ぶこと	10.9%
その他	1.9%

**将来への期待** **取り組むべき教育の手法**

問7-2 これから重点的に取り組むべき教育の手法について、次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 「対話を重視した教育（55.9%）」と「体験学習（50.9%）」の2つが特に多くなっている。

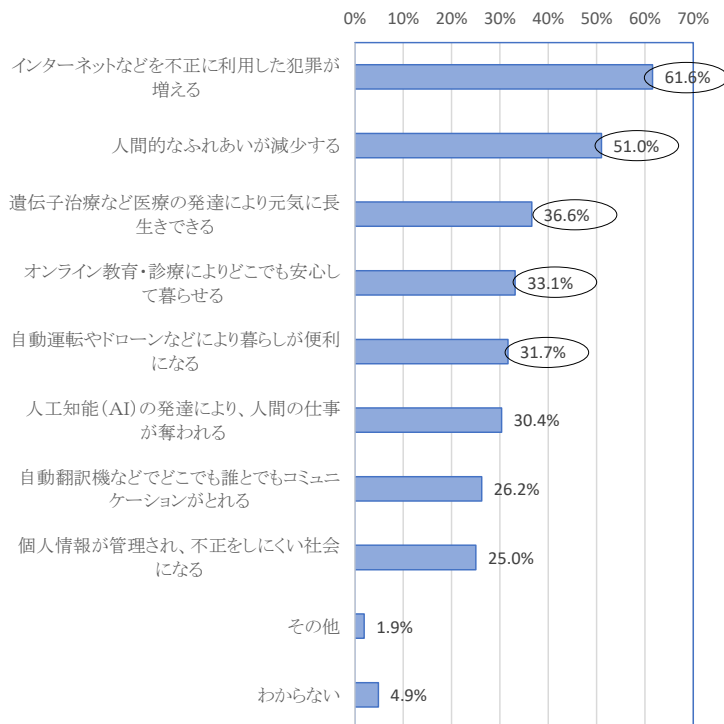
項目	割合
対話を重視した教育	55.9%
体験学習	50.9%
少人数学級	36.6%
外部人材の活用	32.6%
オンライン教育	27.6%
小学校における教科担任制	21.4%
学校間・学年間の連携	17.3%
その他	3.0%

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

将来への期待 科学技術の発展

問8 あなたは科学技術の発展によってもたらされる社会の変化について何に期待し、あるいは不安を感じますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

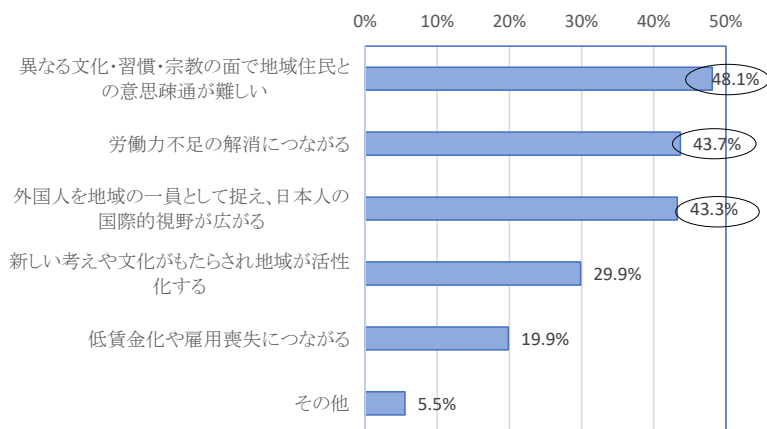
- ・ 「インターネットなどを不正に利用した犯罪が増える（61.6%）」「人間的なふれあいが減少する（51.0%）」と不安の側面が上位を占めている。
- ・ 「遺伝子治療など医療の発達により元気に長生きできる（36.6%）」「オンライン教育・診療によりどこでも安心して暮らせる（33.1%）」「自動運転やドローンにより暮らしが便利になる（31.7%）」と期待の側面も3割を超えている。



将来への期待 在留外国人

問9 今後、在留外国人が増えることが見込まれますが、お住まいの地域で在留外国人が増えることについてどのような印象をお持ちですか、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「地域住民との意思疎通が難しい(48.1%)」が最も多く、次いで「労働力不足の解消(43.7%)」「国際的視野が広がる(43.3%)」となっている。



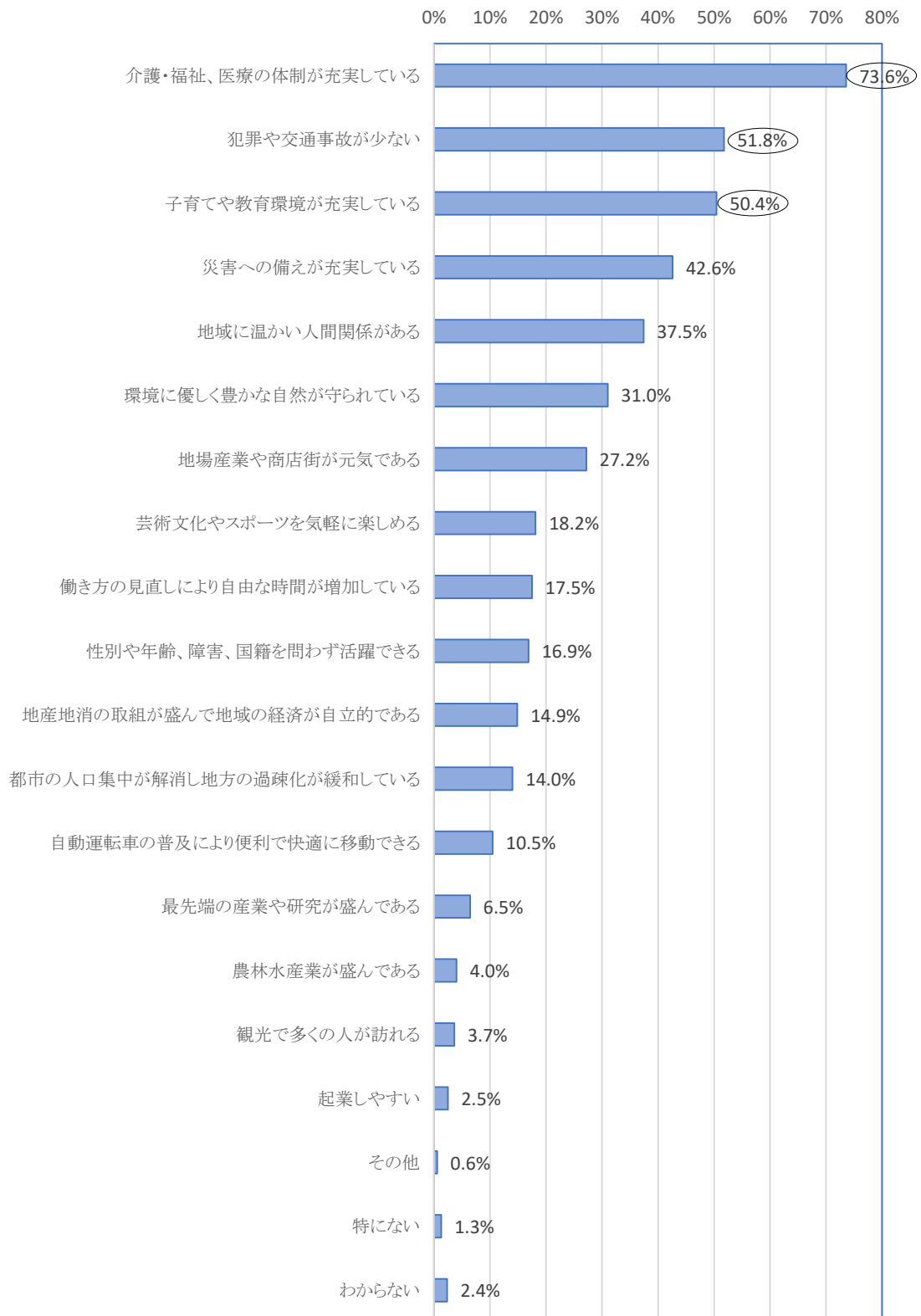
項目  
将来への期待

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

地域社会の将来像

問10 あなたが特に期待する地域社会の将来像はどれですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「介護・福祉、医療の体制が充実している（73.6%）」が最も多く、次いで「犯罪や交通事故が少ない（51.8%）」「子育てや教育環境が充実している（50.4%）」となっている。





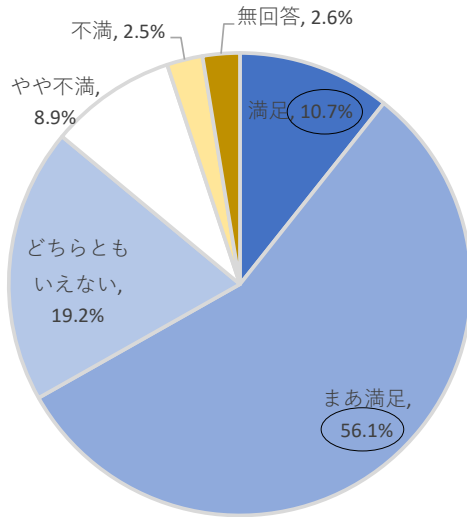
(2) 毎年調査項目

設問及び調査結果（毎年調査項目）

生活満足度

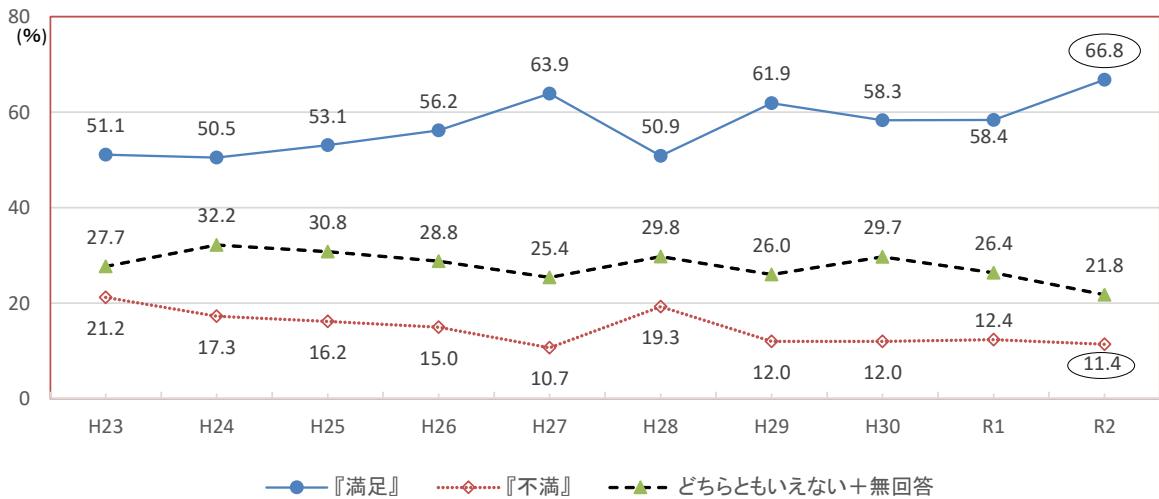
問11 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

・「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』（66.8%）は前年より8.4ポイントの増加、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』（11.4%）は1.0ポイント減少している。



『満足』(66.8%)  
 = 「満足」 + 「まあ満足」  
 『不満』(11.4%)  
 = 「やや不満」 + 「不満」

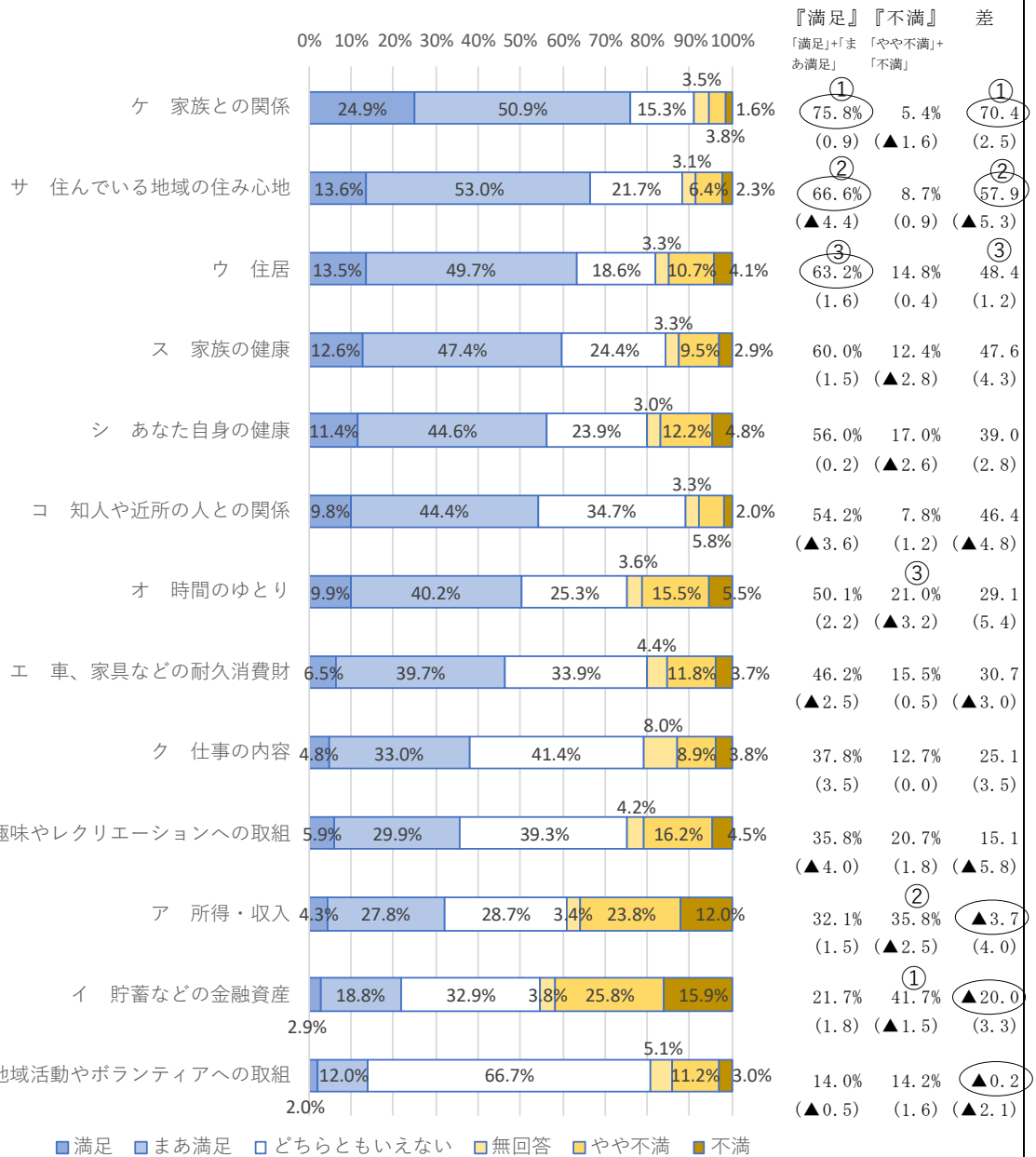
【経年比較】



期 設問及び調査結果（毎年調査項目）

生活満足度 問12 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- 『満足』は、「ケ 家族との関係」(75.8%)が最も多く、続いて「サ 住んでいる地域の住み心地」(66.6%)、「ウ 住居」(63.2%)が続いている。
- 『満足』が『不満』を上回る割合は、「ケ 家族との関係(70.4)」「サ 住んでいる地域の住み心地(57.9)」の順に大きい。一方、「イ 貯蓄などの金融資産 (▲20.0)」、「ア 所得・収入 (▲3.7)」、「キ ボランティアへの取組 (▲0.2)」では『満足』が『不満』を下回っている。



( )内は前年比

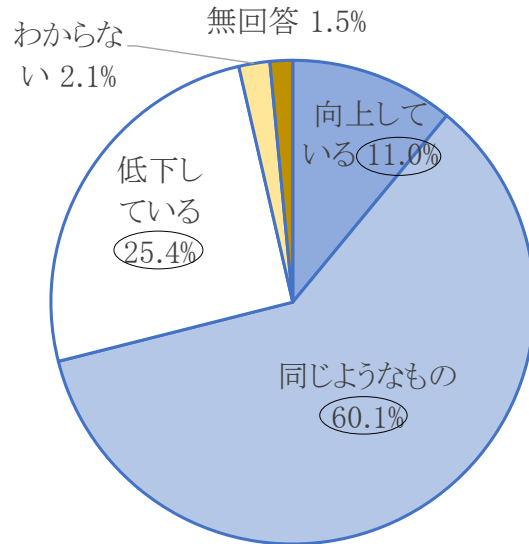
○付き数字は、多いものの順位を表示

項目  
生活満足度

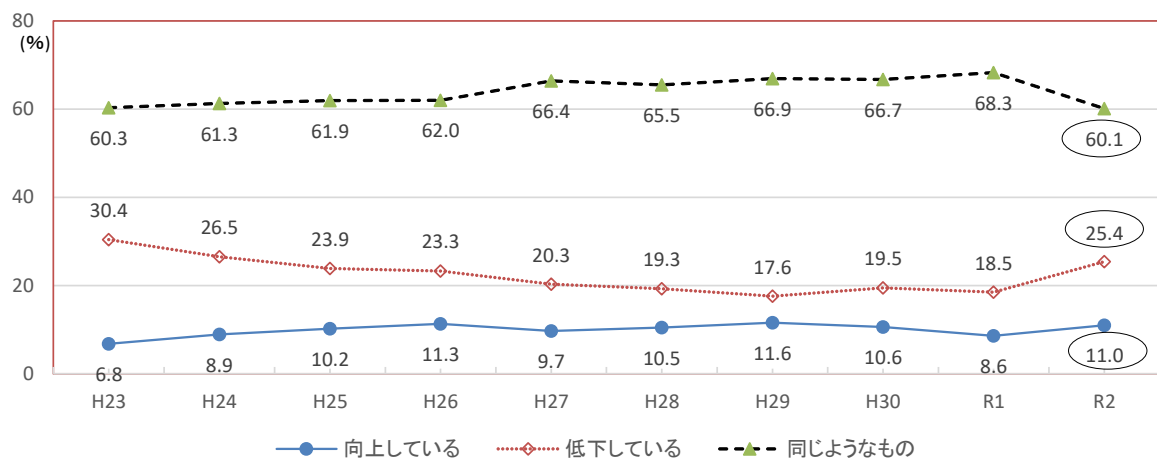
設問及び調査結果（毎年調査項目）

問13 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「低下している」(25.4%)が前年から6.9ポイント増加、「向上している」(11.0%)は2.4ポイント増加し、「同じようなもの」(60.1%)が8.2ポイント減少している。



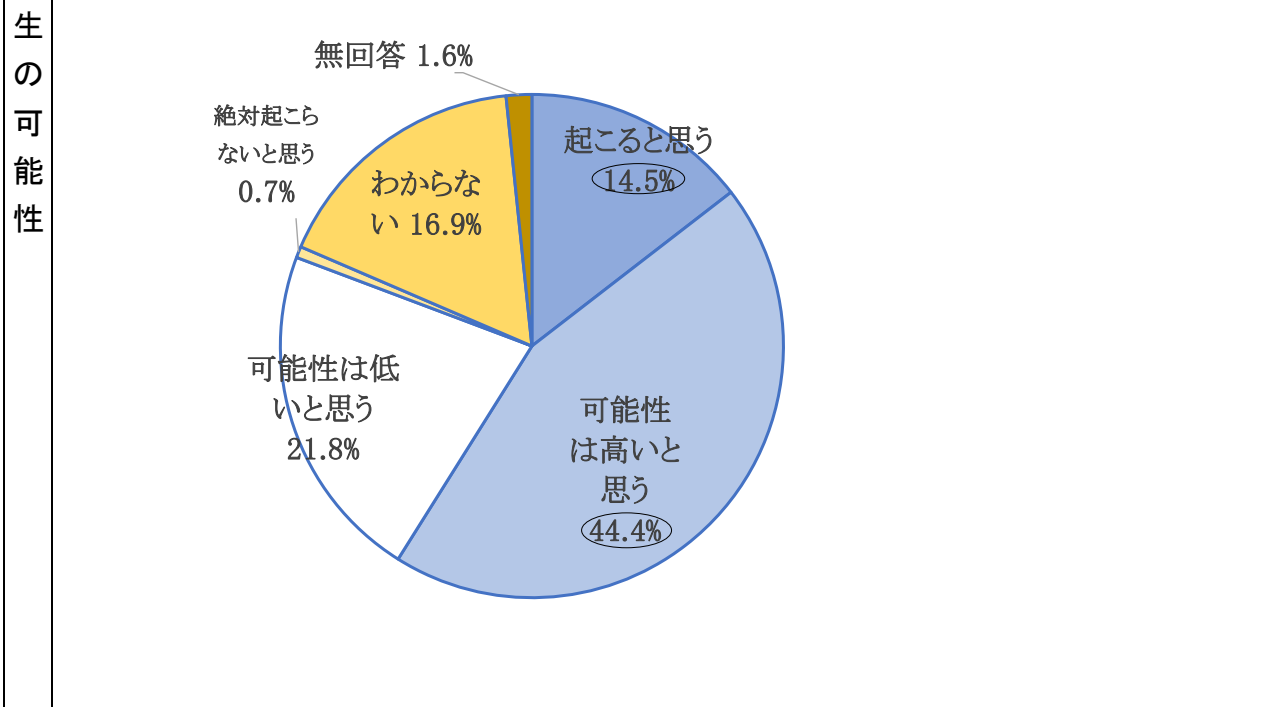
【経年比較】



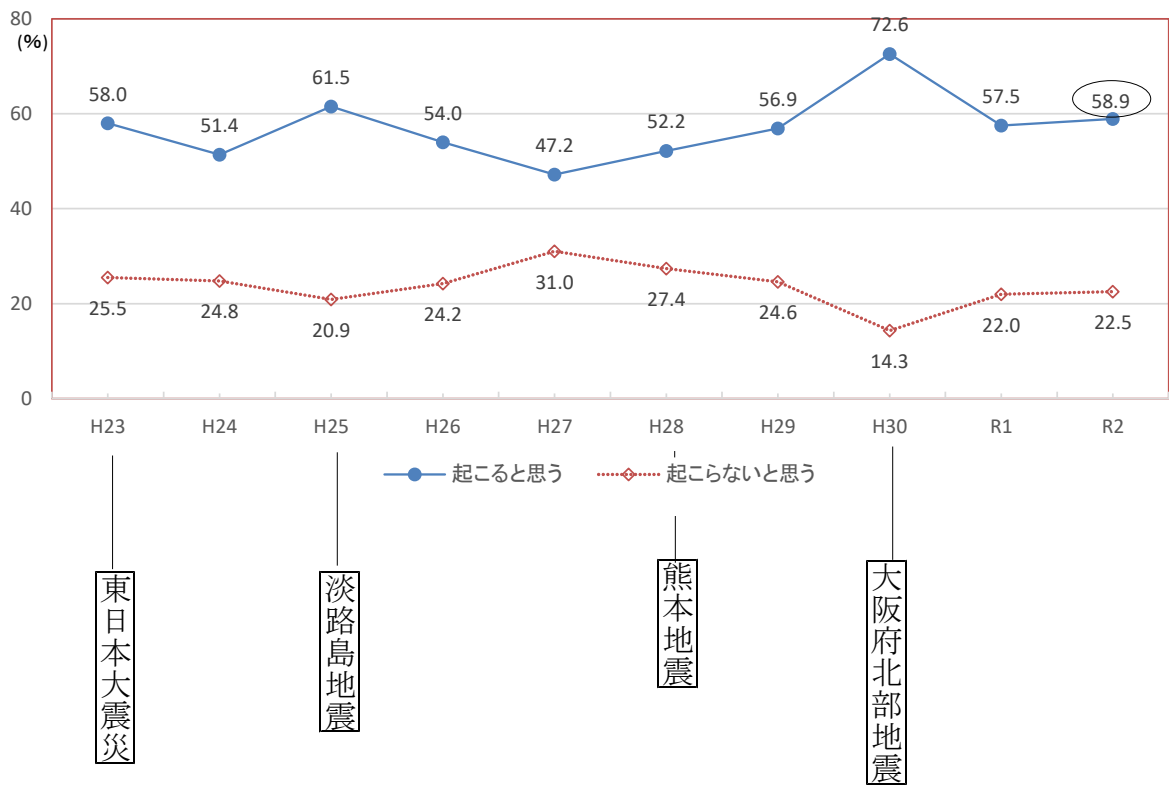
設問及び調査結果（毎年調査項目）

問14 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

・ 「起こると思う」と「可能性は多いと思う」を合わせた『起こると思う』（58.9%）は、前年より1.4ポイント増加している。



【経年比較】

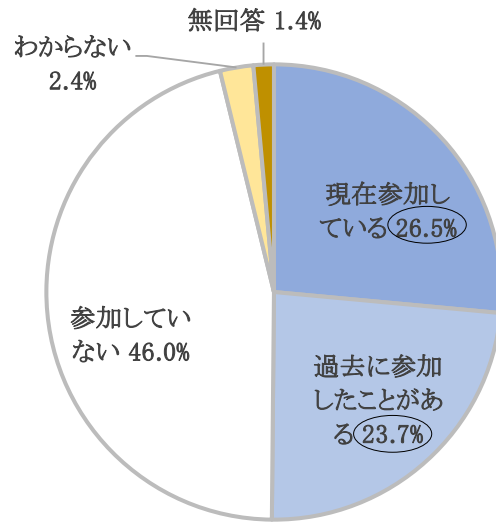


項目  
地域活動への参加

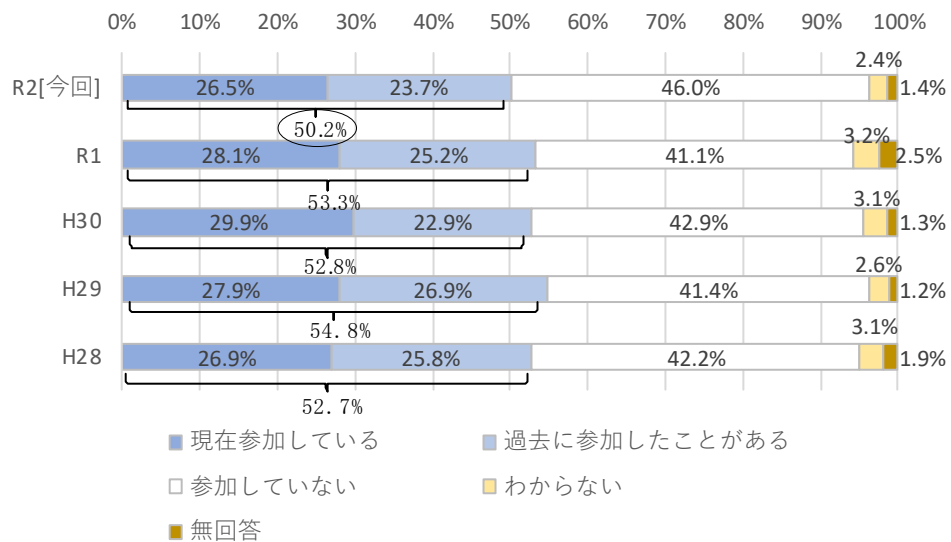
設問及び調査結果（毎年調査項目）

問15 あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加』は50.2%で前年より3.1ポイント減少している。



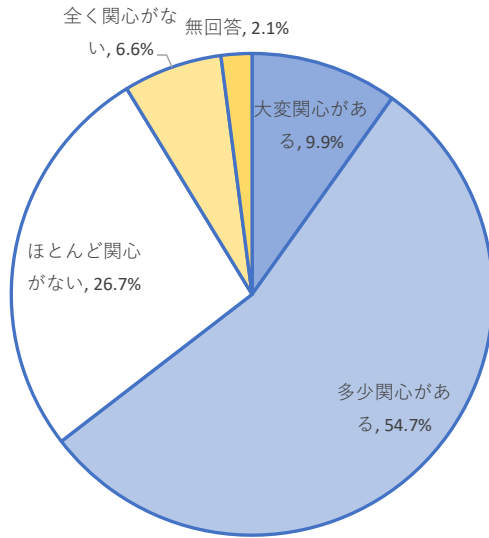
【経年比較】



設問及び調査結果（毎年調査項目）

問16 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 『関心がある』(64.6%)は前年より5.0ポイント増加し、『関心がない』(33.3%)は前年より4.8ポイント減少している。



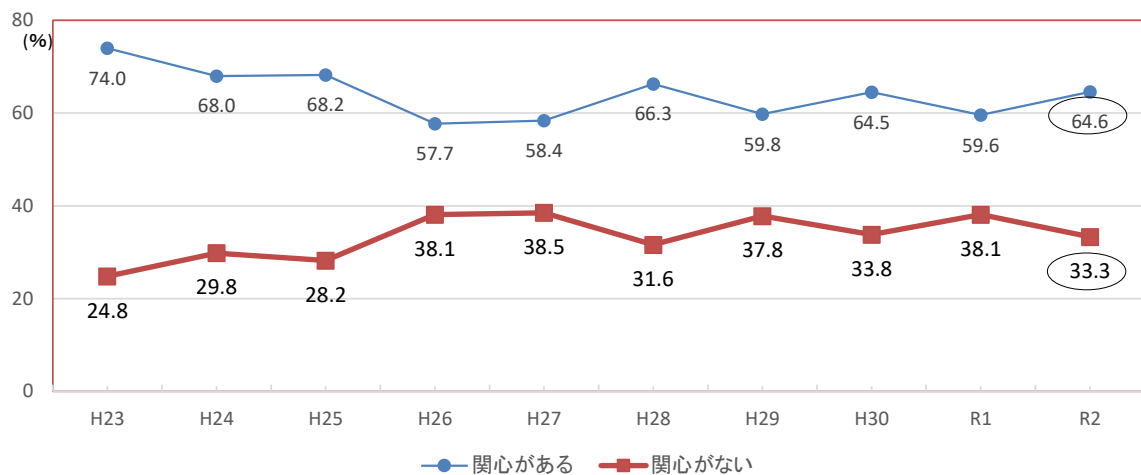
『関心がある』 **64.6%**

= 大変関心がある (9.9%)  
+ 多少関心がある (54.7%)

『関心がない』 **33.3%**

= ほとんど関心がない (26.7%)  
+ 全く関心がない (6.6%)

【経年比較】

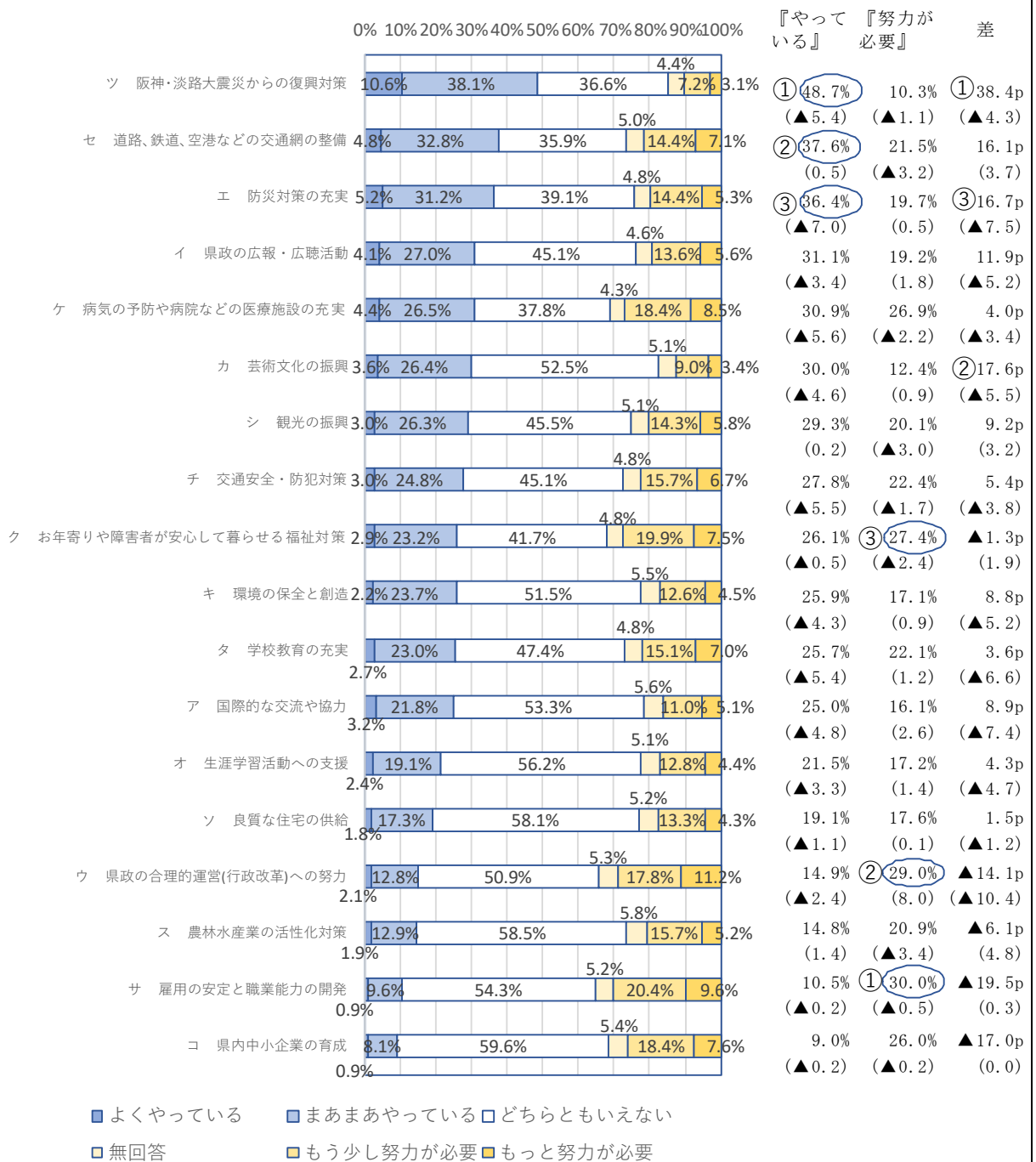


期  
県  
政  
へ  
の  
評  
価

設問及び調査結果（毎年調査項目）

問17 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は「ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策」(48.7%)が最も多く、「セ 道路等の交通網の整備」(37.6%)、「エ 防災対策の充実」(36.4%)が続いている。
- ・ 「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(30.0%)が最も多く、「ウ 行政改革への努力」(29.0%)、「ク 福祉対策」(27.4%)が続いている。



( )は前年調査比

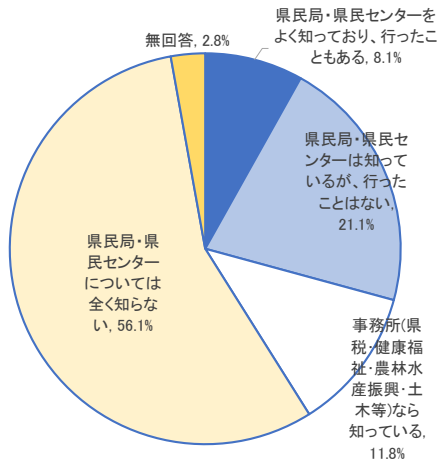
○付き数字は、多いものの順位を表示

期  
県  
民  
局  
・  
県  
民  
セ  
ン  
タ  
ー  
の  
認  
知  
度

設問及び調査結果（毎年調査項目）

問18 あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 『知っている』（41.0%）は、前年より2.5ポイント減少している。
- 地域別の『知っている』は、淡路(67.8%)、但馬(64.9%)、丹波(64.4%)が多い。



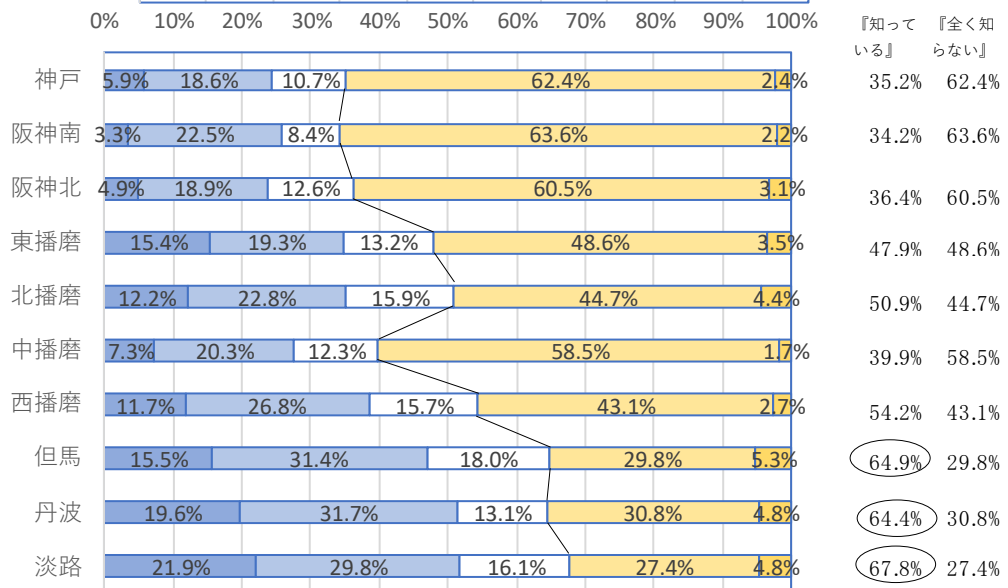
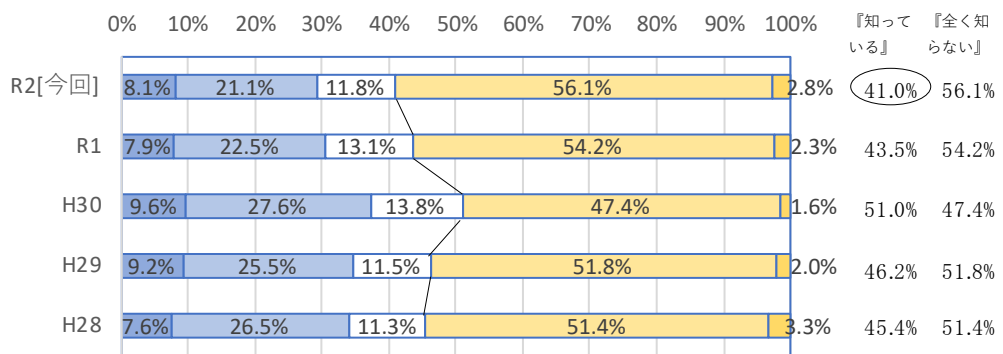
『知っている』 41.0%

=「県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある」

+「県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない」

+「事務所(県税・健康福祉・農林水産振興・土木等)なら知っている」

『全く知らない』 56.1%



- 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 事務所(県税・健康福祉・農林水産振興・土木等)なら知っている
- 県民局・県民センターについては全く知らない
- 無回答

【 問い合わせ先 】 企画県民部広聴課 (TEL078-362-3021)